



# カナダにおける 図書館アドボカシー

Library Advocacy in Canada

Shaney Crawford  
University of Tsukuba

# 発表の内容

- 1 序論
- 2 図書館書籍郵便料金制度
- 3 図書館アドボカシー
- 4 分析・議論
- 5 結び

# ① 序論

## 本研究の目的

カナダの図書館界が行う  
図書館書籍郵便料金制度(LBR)  
を保護・改善するための  
アドボカシー活動  
を例として用いて、

アドボカシー過程  
を明らかにする

## ② 図書館書籍郵便料金制度：定義

図書館書籍郵便料金制度（LBR）とは：

図書館利用者や  
他の図書館に

**書籍**

を送るための  
（図書館限定の）

**郵便料金割引制度**

## ② 図書館書籍郵便料金制度：定義

カナダ図書館協会 (CLA)

ASTED

カナダ国立図書館 (LAC)



連邦政府へリテージ省

カナダ郵政公社

## 日本

## カナダ

	冊子小包郵便物 Booklet Parcel Post	図書館書籍郵便料金 Library Book Rate
対象	書籍・雑誌、商品カタログ、 会報、各種マニュアル類、 カレンダー等、CD や DVD 等	書籍
対象外	「手書きのもの等印刷されてい ないもの」	報告、コピー、テープ、CD、 ビデオ、マイクロフィルム等
利用者	誰でも使える	非営利的図書館
事前手続	不要	必要
大きさの制限	330 × 250 × 35(mm) 長さ + 幅 + 高さ < 1.7m	長さ・幅・高さ < 1m 長さ + 胴まわり < 2m
重さの制限	~3kg	~3kg (かがりなし製本) ~5kg (製本簿)
500g の本なら	290 円	CN\$0.77 ~ \$2.32 (約 65 円 ~ 195 円 '04/03 現在)
普通小包なら	510 円 ~ 1020 円	CN\$5.53 ~ \$9.31 (約 465 円 ~ 782 円 '04/03 現在)
割引率	43% ~ 72%	75% ~ 86%

## ② 図書館書籍郵便料金制度

非営利的  
一般公開された

公共図書館  
大学図書館  
専門図書館

## ② 図書館書籍郵便料金制度：利用

### 利用率

公共図書館 94%

大学図書館 62%

### LBRに依存するサービス

相互貸借サービス

アウトリーチ・サービス・Books by Mail

通信教育資料の送信

## ② 図書館書籍郵便料金制度：管理

1939年	カナダ郵政省(政策・財政・運営)
1978年	国務長官(政策・財政・運営)
1978年	コミュニケーション省(政策・財政) カナダ郵政公社(運営)
1982年	コミュニケーション省(政策) 国家財政委員会(財政) カナダ郵政公社(運営)
1993年	ヘリテージ省(政策・財政) カナダ郵政公社(運営)
1998年	ヘリテージ省(政策) カナダ郵政公社(運営・財政)

## ② 図書館書籍郵便料金制度

昔は、

カナダ図書館協会

VS

カナダ郵政省

今は、

カナダ図書館協会  
カナダ国立図書館  
ASTED

VS

ヘリテージ省  
カナダ郵政公社

## ② 図書館書籍郵便料金制度：廃止？

- 相互貸出サービスの減少・停止
- Books by Mailの減少・停止
- 手数料

その結果、

識字率、  
情報へのアクセスの自由<sup>等</sup>  
が減る。

### ③ 図書館アドボカシー

擁護

弁護

支持

主張

唱道

支援運動

ロビー活動

### ③ 図書館アドボカシー

アドボカシーとは、

「図書館に影響を与え得るような  
政治的決断を下す人たちに、

図書館および図書館界の活動を  
考慮に入れさせるため、

図書館員及び図書館協会の職員をはじめとする

図書館界が行う継続的な取り組み」

### ③ 図書館アドボカシー

図書館アドボカシーとは...

財政的支援、著作権、  
官庁出版物保管制度、  
プライバシー、情報公開、  
**図書館書籍郵便料金制度**等

に関する

図書館界が行う

**支援活動**

### ③ 図書館アドボカシー：活動の例

- 政治家との会議（ロビー活動）
- 公務員との会議
- 嘆願書の配布
- 抗議
- 手紙書き運動
- PR活動
- etc.

### ③ 図書館アドボカシー

1930年代～1950年代

1960年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代



### ③ 図書館アドボカシー

1930年代～1950年代

1939年 図書館書籍郵便料金制度の実施

1946年 カナダ図書館協会の設立

1952年 カナダ国立図書館の設立

図書館界のリーダー:??

値上げ:1939年、1946年、1951年

# ③ 図書館アドボカシー

1960年代

カナダ図書館協会 対 カナダ郵政省

図書館界のリーダー：??

値上げ：無し

# ③ 図書館アドボカシー

1970年代

カナダ図書館協会 対 カナダ郵政省

図書館界のリーダー : Paul Kitchen

値上げ: 1978年、1979年 (x2)

## ③ 図書館アドボカシー

1980年代

- 郵政省が連邦政府から分離
- LBRの管理をCommunications省と国家財政委員会に移転
- ロビー活動は二段階方式になった

図書館界のリーダー : Paul Kitchen, Jane Cooney

値上げ: 1982年、1983年、1985年、1987年(x2)、1988年、1989年

## ③ 図書館アドボカシー

### 1990年代

- Communications省はHeritage省とIndustry Canadaに分割
- LBRの管理をHeritage省に移転
- 国立図書館：より積極的な役割
- LBRの助成金制度が廃止

図書館界のリーダー : Carrol Lunau

値上げ: 1991年、1992年、1993年、1994年、1995年、1996年、  
1998年、1999年

## ③ 図書館アドボカシー

2000年代

- プロのロビイスト登場
- 国立図書館：研究、図書館協会：ロビー活動

図書館界のリーダー：Carrol Lunau、CLA

値上げ：2000年、2001年、2002年、2004年

## ④ 分析・議論

### カナダにおける図書館アドボカシーの特徴

- 無党派
- 政治家よりも官僚
- 活動の波
- 言葉遣い
- 先導者
- 先導者の個性的で創造的な挑戦
- 研究としてのアドボカシー
- 協力・連携
- プロのロビイストの使用
- 先を見越すというよりむしろ、物事が起こってから反応
- 教育と実地研修(OJT)

## ④ 分析・議論

カナダにおける図書館アドボカシーの特徴

- 無党派 ・ 政治家よりも官僚
- リーダー
- 先を見越すというよりむしろ、物事が起こってから反応

## ④ 分析・議論

### カナダにおける図書館アドボカシーへの挑戦

- タイミング
- 図書館界内の反対意見
- 情報・コミュニケーション不足
- 参加への許可
- カナダ：ひとつの国なのか？
- 疲労
- コスト高に対する恐れ
- 時間がたつにつれて変化する考え方
- 政界で働く難しさ
- 移動標的としての政府
- だれが何をするのか？
- 政治ぎらいな図書館界の性質

## ④ 分析・議論

カナダにおける図書館アドボカシーへの挑戦

- タイミング
- カナダ：ひとつの国なのか？
- 疲労

## ④ 分析・議論

カナダにおける図書館アドボカシーへの挑戦

コントロール可能・不可能な要素

## ⑤ 結び

通話からプロのロビイストの使用まで、  
活動の明確な変遷を見る

図書館と政府とのつながり

ご清聴ありがとうございました.

[www.slis.tsukuba.ac.jp/~shaney](http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~shaney)

Library Advocacy in Canada  
Shaney Crawford  
University of Tsukuba